

日時：平成 28 年 1 月 22 日（金）17:00～18:30

会場：神戸ポートピアホテル南館 B1 階カトレア

出席者：井口哲弘（担当理事）、根尾昌志（委員長）、今城靖明、大谷晃司、尾形直則、小澤浩司、村上英樹（書記）

欠席者：田口敏彦、宮腰尚久

#### 報告事項

1. 腰部脊柱管狭窄症手術の合併症（2011 年手術合併症調査）に関する論文の経過報告  
今城委員から腰部脊柱管狭窄症手術の合併症（2011 年手術合併症調査）に関する論文は昨年 11 月に J Neurosurg Spine に投稿し、現在審査中であることが報告された。

#### 審議事項

1. 頸椎症性脊髄症手術の合併症（2011 年手術合併症調査）に関する論文の検討  
井口委員が今城委員の原稿を基に執筆した頸椎症性脊髄症手術の合併症（2011 年手術合併症調査）に関する論文について、各委員が意見を述べ、論文の組み立て、投稿先、今後の進め方等を検討した。「後方手術が圧倒的に多く、75 歳以上の高齢者でも比較的安全に手術ができています」ことを主旨とすることが確認され、データや理論の展開について詳細に検討された。また、著者数の制限のない J Neurosurg Spine に投稿することが決まった。今後、この議論を受けて今城委員が筆頭著者として論文を仕上げ、メール審議後投稿することになった。
2. 医療事故調査制度施行後の各施設の状況の確認と対応について  
昨年 10 月から始まった医療事故調査制度について、各委員の知りうる限り脊椎脊髄病領域で目立った事項や動きの無いことが確認された。
3. 最高裁判所よりの裁判協力（鑑定人候補者推薦）について  
昨年 10 月に最高裁判所より脊椎脊髄病学会に対して上記依頼があったことが報告された。本委員会に鑑定人の推薦を依頼された場合には、協力する方向でメール審議を行うことになった。
4. 次回会議日程  
日本脊椎脊髄病学会期間中の 4 月 15 日（金）昼の予定となった。腰部脊柱管狭窄症に関する論文の審査結果や、頸椎症性脊髄症に関する論文（未投稿であった場合）

について審議する予定である。

#### 5. その他

2021年頃に予定される次回の全国手術合併症調査をどう進めるか？

全国的には手術全例登録（レジストリー）の方向に進んでいるが、脊椎脊髄手術に関してはどうするか？

などの意見が出され、次回以降検討していくこととなった。